

平成 24 年度 京都府医師会勤務医部会 活動報告

1. はじめに

永年にわたる医療費抑制政策のもと、ますます高度化、専門分化した医療情勢は大変重要な時期を迎えており、医療安全対策、医師不足と過重労働、研修医の指導や自らの生涯教育のあり方など、勤務医を取り巻く問題は多岐に渡っている。いずれの問題もこのままでは放置できない状況となってきたが、勤務医部会としては、この危機的状況を乗り切るためにも、勤務医部会幹事会を活動拠点として、種々の問題解決に向け取組み、さらに女性医師の抱える勤務環境の問題を専門に協議する場として、女性医師ワーキンググループを設け、活動している。

2. 部会員数

京都府医師会勤務医部会は、発足以来 29 年を迎えた。平成 25 年 1 月 1 日現在の部会員数は、1,707 名で昨年より 28 名の減となり、京都府医師会総会員中、41.1%を勤務医部会会員が占めている。これは全国平均の 51.0%（12 年 8 月現在での日医集計による）と比べて低い状況にあり、京都府内に従事する勤務医の約 3 分の 2 が医師会に未加入であることを考えると、依然、組織率が低迷していると言わざるを得ない。

過去 5 年間の勤務医部会員数の推移

年	勤務医部会員数	京都府医師会総会員数	割合
平成 25 年	1,707 名	4,154 名	41.1%
平成 24 年	1,735 名	4,204 名	41.3%
平成 23 年	1,716 名	4,216 名	40.7%
平成 22 年	1,695 名	4,206 名	40.3%
平成 21 年	1,699 名	4,210 名	40.3%

※基準日：1 月 1 日現在

3. 部会役員に関する件

森勤務医部会長ののもと、幹事長に内藤和世氏、副幹事長には若園吉裕氏、吉田憲正氏、紀田康雄氏にご就任いただいた。今期の役員は以下のとおり。なお、任期は府医役員に準じ平成 25 年 6 月 16 日まで。

役職	氏名	医療機関	備考
部会長	森 洋一	森小児科医院	
幹事長	内藤 和世	京都市立病院	
副幹事長	若園 吉裕	京都桂病院	
〃	吉田 憲正	京都第一赤十字病院	
〃	紀田 康雄	第二岡本総合病院	
幹事	白方 秀二	社会保険京都病院	
〃	安田 健治朗	京都第二赤十字病院	
〃	牛嶋 千久	京都第二赤十字病院	
〃	相良 幸彦	堀川病院	
〃	新谷 弘幸	京都市立病院	
〃	吉波 尚美	京都市立病院	
〃	大内 能子	京都逋信病院	
〃	二宮 清	洛和会丸太町病院	
〃	清水 聡	京都南病院	
〃	盛岡 茂文	武田病院	
〃	木村 格	日本バプテスト病院	
〃	谷川 徹	北山病院	
〃	森村 達夫	宇多野病院	
〃	宮崎 博子	京都桂病院	
〃	岡田 憲幸	三菱京都病院	
〃	巨島 文子	京都第一赤十字病院	
〃	閑 啓太郎	愛生会山科病院	
〃	土谷 美知子	洛和会音羽病院	
〃	近藤 摂子	洛和会音羽病院	
〃	橋本 哲男	医仁会武田総合病院	
〃	瀬田 公一	京都医療センター	
〃	喜多 美穂里	京都医療センター	
〃	北村 浩二	済生会京都府病院	
〃	宮嶋 敬	宇治武田病院	
〃	新井 正弘	公立山城病院	
〃	小倉 卓	公立南丹病院	
〃	鴻巣 寛	綾部市立病院	
〃	上野 たまき	綾部市立病院	
〃	中村 紳一郎	市立福知山市民病院	
〃	山本 育男	京都ルネス病院	
〃	竹内 一雄	舞鶴共済病院	
〃	法里 高	舞鶴医療センター	
〃	関本 達之	府立与謝の海病院	
〃	福田 和彦	京都大学医学部附属病院	
〃	小川 修	京都大学医学部附属病院	
〃	大越 香江	京都大学医学部附属病院	
〃	藤原 斉	京都府立医科大学附属病院	
〃	中西 正芳	京都府立医科大学附属病院	
〃	外園 千恵	京都府立医科大学附属病院	

4. 幹事会・正副幹事長会の開催

24年度は2回の幹事会と1回の正副幹事長会を開催し、職場環境やキャリアパスの問題点、総会の運営等について協議した。

開催日	会合名	協議事項
2012.7.21	幹事会	(1)平成24年度勤務医部会事業計画 (2)各種委員会への委員の選出 (3)若手医療ビジョン委員会の開催 (4)京都医報勤務医通信の執筆依頼 (5)平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会への出席 (6)平成24年度勤務医部会総会の開催 (7)平成24年医学生・研修医をサポートする会の開催 (8)フリーディスカッション
2012.8.22	正副幹事長会	(1)平成24年度勤務医部会総会の開催 (2)勤務医部会（幹事会）メーリングリスト (3)勤務医部会幹事会の進め方
2013.1.12	幹事会	(1)京都府医師会勤務医部会規約 (2)平成24年度勤務医部会総会の開催 (3)フリーディスカッション

5. 女性医師ワーキンググループの開催

勤務医部会では、女性医師支援策の具体的な検討を進めるために、女性勤務医11名を幹事として委嘱し、女性医師WGを設置し、今年度は2回開催した。

開催日	会合名	協議事項
2012.7.21	女性医師WG	(1)平成24年度第4回医学生・研修医をサポートする会 (2)KMCC(京都府地域医療支援センター)の取り組み
2013.1.12	女性医師WG	(1)平成25年度第5回医学生・研修医をサポートする会 (2)今後の支援事業の取り組み

6. 医学生・研修医をサポートする会の開催

女性医師に限らず勤務医全体の問題と捉えて就労環境の改善を目指し、キャリア形成、多様な働き方などについて意見交換する場として、以下のとおり第4回医学生・研修医をサポートする会を開催した。

第4回医学生・研修医をサポートする会

と き 2012年9月29日(土) 午後2時~5時

ところ 京都国際ホテル

特別講演「男だって子育てがしたい! □バカパパと呼ばないで□」

福井大学医学部総合診療部教授 林 寛之 氏

話題提供「男女共同参画のための医師の勤務支援に関する病院アンケートの集計結果について」

京都府医師会理事 小澤 恭子 氏

パネルディスカッション

「オムロンにおける女性活躍推進の取り組み」

オムロン(株)グローバル人事グループ長 吉原 聖子 氏

「早期復帰のススメ」

京都第二赤十字病院産婦人科 衛藤 美穂 氏

「育児生活から学んだこと」

足立病院産婦人科 戸城 えりこ 氏

「働きやすく元気な病院をめざして □女性医師支援策と今後の課題□」

綾部市立病院院長 鴻巣 寛 氏

共 催 京都府医師会、日本医師会、京都大学大学院医学研究科、京都大学医学部附属病院、
京都府立医科大学、京都府立医科大学医学部附属病院

出 席=65名

7. 府医各種委員会委員等への推薦

今期、勤務医部会から府医各種委員会の委員として下記3委員会に3名の幹事を推薦し、各委員会にて勤務医の意見が反映されるよう意見具申していただいた。

- 医業経済・融資斡旋委員会 紀田 康雄 副幹事長
- 広報・情報・企画委員会 巨島 文子 幹事
- 学術・生涯教育委員会 瀬田 公一 幹事

また、勤務医部会会員数が府医会員総数の40%以上を占める中で、府医代議員107名中、勤務医の代議員数は2名、京大および府立医大の計4名を加えても計6名と、その比率は5.6%であり、勤務医の意見が府医の会務執行に届きにくい状況といえ、この点は今後の課題と言える。

8. 京都府医師会への入会促進

京都府医師会入会促進事業の一環として、勤務医向けの入会パンフレットを作成し、各方面で配付した。

9. 乳がん検診などへの出務医師の派遣

地域医療活動として、京都府医師会乳がん検診委員会と調整の上、出務医師の派遣を行っており、今年度は京都市内(2地区)において勤務医を派遣した。

10. 第38回京都医学会への演題発表

2012年9月30日(日)に開催された第38回京都医学会では勤務医から87題もの演題発表があり、医学会を盛り上げた。

11. 京都医報「勤務医通信」欄への投稿

京都医報内に「勤務医通信」コーナーを設け、幹事の先生方に執筆をお願いしてきた。テーマは執筆者の自由としており、勤務医の生の声として掲載した。

12. 全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加

2012年10月6日(土)、愛媛県松山市で開催された平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(愛媛県医師会主管)に内藤幹事長および上田府医理事、事務局が参加した。協議会はメインテーマを「新しい医療の姿 □ 勤務医の明日□」とし、勤務環境や女性医師、医療メディエーター、僻地医療など、勤務医を取り巻く諸問題について発表があり、フロアからの質疑応答も含めて、活発な議論がなされた。なお、協議会当日には下記の「愛媛宣言」が提案された。

愛 媛 宣 言

勤務医に関する問題として、劣悪な労働環境、絶対的な医師不足、勤務医の地域や診療科ごとの偏在化、医療の高度化・複雑化と情報の氾濫による医師—患者関係の変化などがあげられる。

しかし、これまで実施されてきた勤務医に関する政府の施策は、地域や医療機関それぞれにおいてその問題点が異なるため、勤務医個々にまでその効果が及んでいるとはいえない。

このような現状の中で、勤務医はそれぞれの地域で、その特性に合わせた方法を用い、すべての医療従事者、住民、行政とともに急性期から慢性期、そして介護を含めた医療を平時のみならず災害時においても支え続けている。

この状況を顧み、今後の医療の新たな展開に向けて、政府に対して以下の要望を宣言する。

- 一、勤務医として、男性、女性の別なく、仕事と生活の調和がとれる労働環境の整備、さらに女性医師の能力の発揮を可能とするような労働環境の実質的な推進。
- 一、医療には不確実性があるにもかかわらず、勤務医には常に高い要求が課せられており、そうした状況に立ち向かう勤務医を守るための、勤務医の実質的な処遇改善による勤務医数の増加とさらなる制度整備。
- 一、勤務医に関する問題の解決方法において、それぞれの地域が固有に持つ問題点に合致した施策が実施されるための、地域の医師会と協働した、地域医療の実態を示す統計の様々な角度からの検討と把握。

平成24年10月6日

全国医師会勤務医部会連絡協議会・愛媛

13. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加

2012年11月30日(金)、日医会館で平成24年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会が開催され、小野府医理事と事務局が参加した。協議会では「勤務医の組織率向上に向けた具体的方策」をメインテーマに、大阪・兵庫・鹿児島医師会より取り組みの発表がなされた後、各都道府県において組織率を向上するにあたっての問題点についてディスカッションが行われた。

平成 24 年度（第 29 回） 京都府医師会勤務医部会総会

と き 2013 年 3 月 16 日（土）午後 2 時 30 分～ 5 時 10 分
ところ 京都府医師会館

I. 総会

1. 開会挨拶
2. 平成 24 年度勤務医部会活動報告

II. 特別講演

座長／京都府医師会 勤務医部会幹事長 内藤 和世 氏
「次世代を拓く女性医師と男性医師へのメッセージ」
虎の門病院 元 腎センター内科部長・健康管理センター部長 原 茂子 氏

III. パネルディスカッション

「未来にはばたく勤務医像」

総括者 原 茂子 氏、内藤 和世 氏

パネリスト

「これからの医療と勤務医のあるべき姿」
医仁会武田総合病院 泌尿器科部長 山田 仁 氏
「当院の子育てアンケートをしてみよう」
京都桂病院 病理診断科医長 安原 裕美子 氏
「フューチャーステップ研究員を拝命して」
京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 牛込 恵美 氏
「京都府北部研修医ネットワークの立ち上げと現状」
市立福知山市民病院 消化器内科 堀田 祐馬 氏

IV. 懇親会